

浅間山周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Asama Volcano

国土地理院

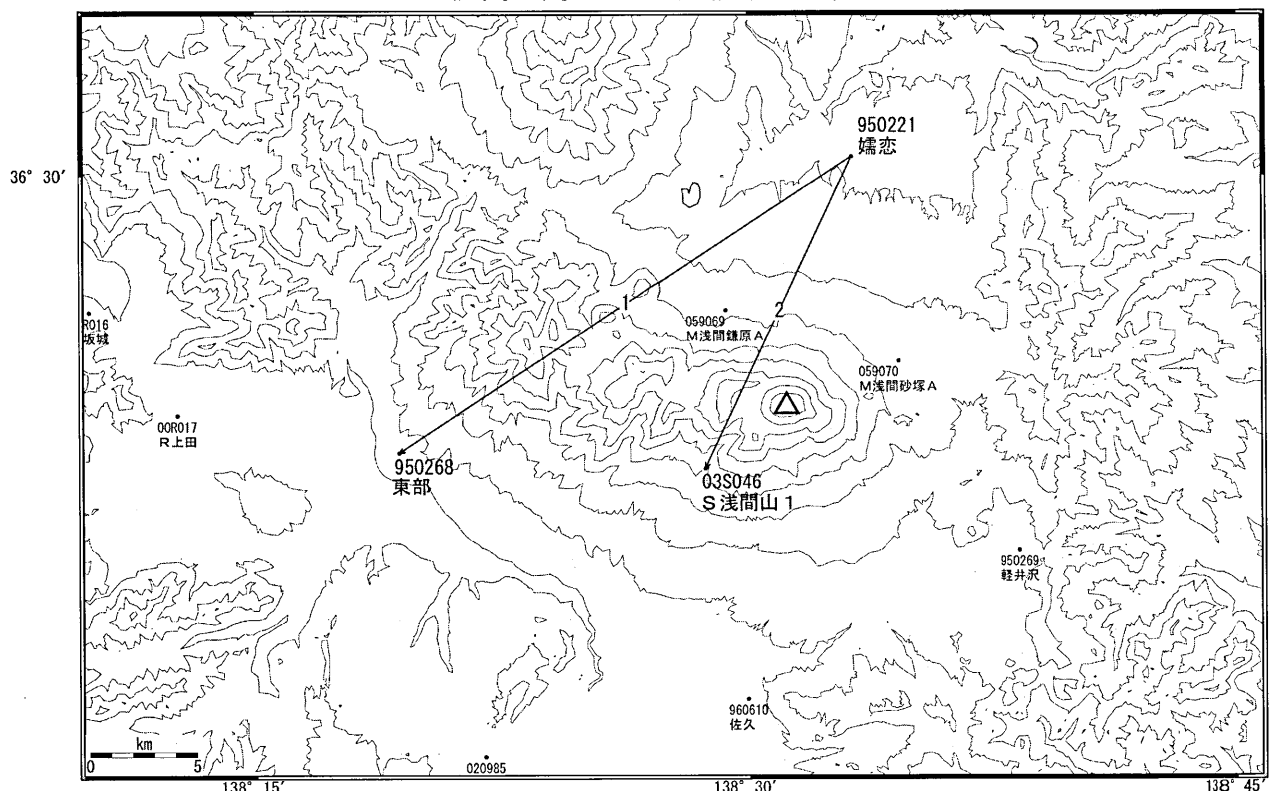
Geographical Survey Institute

第1図は、浅間山周辺のGPS連続観測結果である。浅間山をまたぐ位置関係にある嬬恋と東部間の基線（第1図の中段）では、1996年4月に観測が開始されて以来、短縮と停滞を繰り返している。この伸張と浅間山の地震活動の活発化の間には、相関があることが知られている。最近では2003年7月頃から短縮が続いていたように見えていたが、2004年4月頃から伸びに転じ、2004年9月1日の噴火を迎えた。その後一時的に停滞したもの、10月頃からまた伸び始めている。伸びは1年近く続いたが、2005年10月頃に、そのピークに達し、その後は短縮が続いていた。2006年に入ってから、短縮の傾向が若干鈍化した可能性がある。図の下段は浅間山を挟む2つの基線の最近の距離変化時系列であるが、両方の基線とも距離の短縮が若干鈍化したように見える。

参考文献

村上亮（2005）GPS連続観測結果が示唆する浅間火山のマグマ供給系，火山，50，5，pp. 347-361.

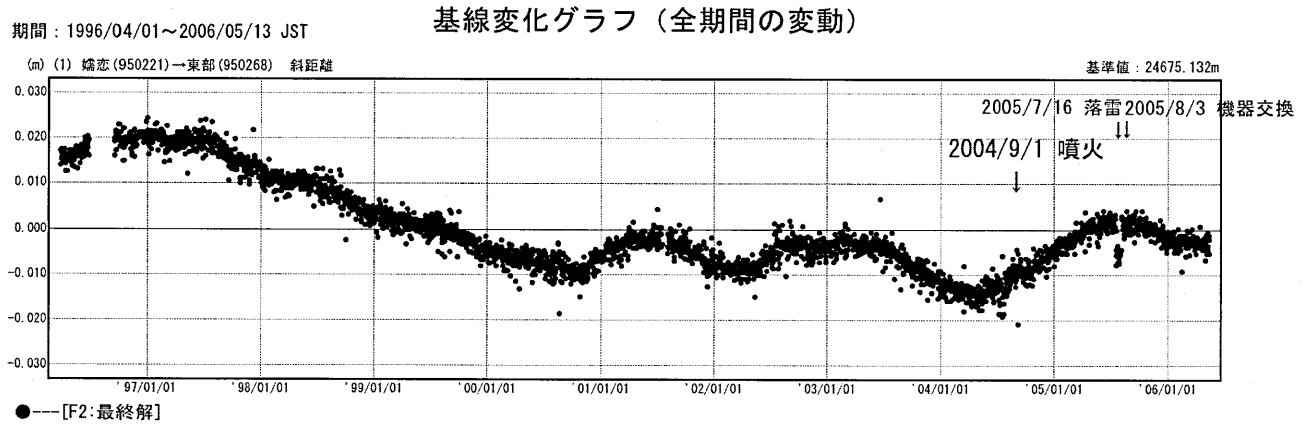
浅間山周辺 GPS連続観測基線図



第1図(a) 浅間山周辺 GPS連続観測結果

Fig. 1(a) Site location map of the GPS permanent continuous measurements network around the Asama Volcano.

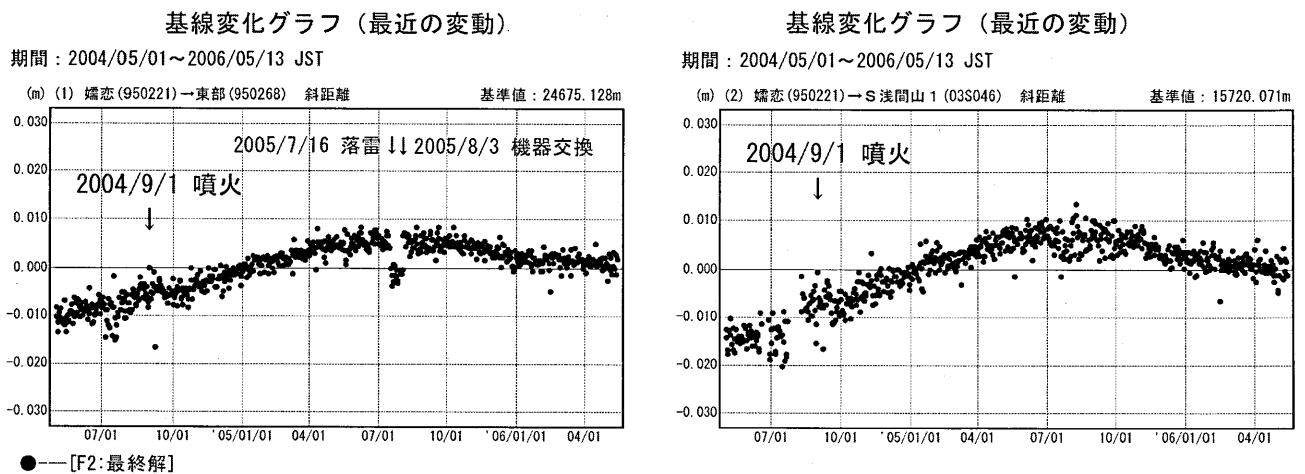
* Received 9 August, 2006



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第 1 図(b) 浅間山周辺 GPS 連続観測結果

Fig. 1(b) Distance change time series of the baseline between 950221 and 950268 during April 1996 to May 2006.



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第 1 図(c) 浅間山周辺 GPS 連続観測結果

Fig. 1(c) Distance change time series plots of baseline 950221-950268 and 950221-03S046 during May 2004 to May 2006.